

## 10月 ミーティング記録

日時：2023年10月26日（木） イオンモール京都4F フードコートにて

出席：TN、TT、(ST)、NH、YY、(YH)、(MY)、(RY)、(AY)、ゲスト1 \*はネット参加、()は欠席

山行報告 (9/29~10/26)

CSS：クライミング研究会 SKN：スキーネット

No.	日程	山名	形態	参加者
1	9/30	鬼ヶ岳	PH	TT ST 他1
	山頂往復 14時下山 式部の湯入浴 眺め良し。			
2	10/01	びわこ文化公園→堂山（初級登山教室）	RC	TN 他7
	雨が残っていたため、場所をびわこ文化公園→堂山と移して、主にマルチピッチシステムのシミュレーションを行った。斜度の点で擬似的なマルチピッチ練習となったが、その分詳細に手順を確認できたと思う。雨で天神川が増水しており、渡渉に多少苦勞した。			
3	10/06-11	韓国の山	PH	TT ST 他2
	10/08 伽智山 釜山駅から KTX 乗車、約 20 分蔚山駅下車。石南寺行きバス乗車約 1 時間石南寺下車。石南寺手前の青雲橋を右に登山口。10 時登山開始。林道出合→上雲山（昼食）眺め良し→耳岩→米岩→伽智山眺め良し→中岳→石南寺峠→石南寺峠駐車場→石南寺バス停 17 時 天気は曇り、途中晴れて展望良い。中岳から小雨、石南峠で親切な韓国人カップルに石南寺への下山道が閉鎖されていたので駐車場からバス停まで送っていただいた。			
	10/09 金井山 温泉湯駅近くのホテルから金剛公園へ。ケーブル駅は 9 時 30 分始発なので登山道を歩く。9 時 30 分頃ケーブル山頂駅に到着し、望楼を経て南門に 10 時頃到着。城郭を西門へ向けて 3 山を登り下りし、最後の岩峰は登山者で賑わっていて金海方面の眺めが良い。西門への下りは長く 13 時頃ようやく到着。西門は立派で谷に石橋をかけて北門へ城郭が続いています。ここからバスに乗ってホテル近くまで 15 時にホテルに戻った。			
4	10/08	岩木山	PH	YY
	東北遠征シリーズの最初の山です。今回は青森から紅葉と共に南下していくこととしました。岩木山は「津軽富士」の異名をもつ裾野をなだらかに広げる美しい山。リンゴが実る畑の横を通り過ぎ、スカイライン八合目まで行き、370m だけを登るというらくちんコース。初日には上出来の青空。頂上からさすがに北海道は見えなかったものの陸奥湾は確認できた。			
5	10/9	八甲田山	PH	YY
	東北遠征シリーズ 2 座目 八甲田山。温泉で有名な「酸ヶ湯温泉」が登山口となります。今日も青空のよいお天気。前半はぬかるんだルートで靴はドロドロ。後半は一転草原の木道を進む気持ちのよいルート。紅葉はあまり進んでいないが、チラチラと見える黄色い葉っぱ、緑の木々が多いなかよく目立っている。 下山後は、当然酸ヶ湯温泉に入る。特に「千人風呂」は混浴になっていて、なんと女性も同じ湯舟にいる！！温泉の後のソフトクリームはやはり格別！			

6	10/10	霊仙山	PH	RY AY
	<p>雨上がりということもあるのか、Rは4匹、Aは一匹のヒルがつく。赤土でヌルヌルと滑りRは数回コケる。山頂近くは見晴らしの良い稜線で広範囲に苔が点在しており、見たことはないけれどイブネってこんな感じ？汗拭き峠～経塚山～山頂～近江展望台～笹峠～今畑登山口のルートでの下山では近江展望台～笹峠まで急で長いガレ場が続き、目印がほぼなく（見えず？）途中で少し迷う。山頂では冷たい雨が降り長くはいられなかったが、山はいろいろな表情があり飽きずに楽しく登れた。午後から雨予報で雲が出てきたため、13時過ぎに切り上げて下山。</p>			
7	10/11	八幡平	PH	YY
	<p>東北遠征3座目 八幡平 1613 m 今回の登山口は、八幡平アスピーテラインという県道の秋田県と岩手県との県境に位置してかなり高い所。なので歩き出して僅か2時間弱の登山でした。少しだけ坂道を上りましたが、東北によくある高所の池塘群と沼が点在して、それらを縫うように木道が配置されています。当日は朝霧が出ていて景色もイマイチ。やむなく早々に下山しました。あまりにも足を使わなくてもいい百名山に驚きましたね、その後こちらで有名な「藤七温泉」に。崖地のようところで、あちこちから硫黄の蒸気が噴き出している露天風呂。なんと混浴風呂！残念ながら若い女性に会えませんでした。5～60年ぐらい前ならきっと可愛かったであろう女性の何人かと白く濁った露天風呂で出会えました。</p>			
8	10/12	岩手山	PH	YY
	<p>登山口から頂上まで、1400 mの高低差があるということで少しビビっていましたが、平日にもかかわらずたくさんの登山客がいて勇気づけられました。往復コースで面白さは半減でしたが、8合目に避難小屋があり後学のために内部を見せてもらいましたが、10月中旬までは小屋守さんが管理されているとのこと。薪ストーブ共々きれいに管理され、3層になっていて最大200名ほど収容できるとのこと。また小屋のすぐ前には水場があり環境抜群でした。</p>			
9	10/13	早池峰山	PH	YY
	<p>ここは駐車場が登山口手前の徒歩40分程のところであり、坂道の県道25号線をテクテクと行く必要があります。登山口から木道の林を抜けると岩場。さらに進むと尾根に出るのですが、恐ろしく風が強い場所でカラダを持って行かれそうでした。頂上にごく最近避難小屋が新築され、木の香りがするこちらの小屋で休憩。往復コース。</p>			
10	10/14	月山	PH	YY
	<p>冬場はスキー場として利用されている関係で、ペアリフトを使い登山口へ。復路の一部を除き平原のコースで空を大きく感じるルート。週末で、かつ信仰の山でもある関係で紅葉の季節でもあるので老若男女の観光客含め大勢の人。高い所からはルートを歩く人たちがよく見え楽しいコースといえます。後半ルートでは樹木の中を木道歩き。ここでは紅葉した木々の楽しみながら下山していきます。</p>			
11	10/14-15	鈴鹿雨乞岳～御在所岳（初級登山教室）	縦走	TT TN RY AY 他1
	<p>武平峠から雨乞岳～杉峠～佐目峠～イブネ～クラシ～杉峠～コクイ谷出合～根の平峠～国見峠～御在所岳周回の予定だったが、駐車場満車で連絡が行き届かず、行程自体も遅延したことから、雨の予報であったことから、佐目峠幕営折り返しとなった。夜は雨天、2日目は交代でリーダーを担当した受講生判断で上水晶谷経由の代替ルートで国見峠に出た。ルート判断やパーティ行動での課題も残したが、充実した講習となった。佐目峠は素晴らしい幕营地だった。</p>			
12	10/16	安達太良山	PH	YY

	東北遠征も7座目、安達太良山（あだたらやま）。こちらでは、東北エリアで多いゴンドラを利用し登山口へ。登りが373 m、歩行距離が7.7kmというコース。当日ガス気味の天気ですッキリをせず残念な1日であった。また後半のコースが工事中で林道を長く歩くことになった。			
13	10/17	磐梯山	PH	YY
	東北遠征8座目、磐梯山。良いお天気に恵まれました。紅葉がきれいな登山口から、枯葉を踏みしめながら進みます。でもだんだん曇って来て眺めのないまま頂上へ。1816 m磐梯朝日国立公園の頂上からはやはり眺望が望めず、簡単な昼ごはんのパンを食べた後、今来た道を登山口に戻りました。			
14	10/18	西吾妻山	PH	YY
	東北遠征／9座目 西吾妻山 冬はさぞスキー場として賑やかそうな新しい施設のグランデコスノーリゾートのリフトを利用し登山口へ。ここから西吾妻山までの往復ルート。登り875 m、往復8.2kmのコース。登山口からスキー場のコースの登りを進む。両サイドがきれいに紅葉をしていて何度も携帯で写真を撮る。ところが進めば進むほど針葉樹ばかりで紅葉は望めず。また西吾妻山の頂上は全く眺望がない所で早々に引き上げる。少し下りてくると、池塘のある平原を木道を歩く。今日は終日晴天で気持ちがいい。			
15	10/19	那須岳	PH	YY
	東北遠征10座目、那須岳。那須岳と名の付く山はなく、三本槍岳、朝日岳、茶臼岳の三つの山をまとめて那須岳というらしい。9月の天候が悪い日に、この那須岳で4人が亡くなるという痛ましい遭難事故があった。この日は風も弱く、紅葉を期待した観光客も多く登ってきていた。少し時間がかかったが、一番遠くの三本槍岳もクリアし、荒々しい頂上の朝日岳ではチキンラーメンの袋メンを煮て食べるまかった。こちらの山も特に茶臼岳では硫黄ガスが噴き出すところもあり火山活動中だ。			
16	10/22	天吉寺山（県連登山祭典）	PH	TT ST TN RY AY他4
	大吉寺より時計回りに周回。会員5名＋一般参加者4名で賑やかな山行となった。地元でもマイナーだがなかなか味のあるルート。天吉寺山はそれほど眺望は無いが、東の方に出ると奥伊吹スキー場やブンゲンが見えた。また登りの開けたところからは小谷山・竹生島も見ることができた。元々660mほどの山腹に寺院があり、遺構が残る。洪水により天吉寺の文字の1画が流され「大」吉寺となったという言い伝えが残る。			
17	10/22	四阿山	PH	YY
	東北遠征11座目 長野県・四阿山（あづまやさん）。国道からかなり山の方へ進むと、菅平（すがだいら）という別荘地のある避暑地。ホテルやペンションが立ち並び、ブルジョア感を感じる。その奥に乳牛がいる牧場の中に、登山口がある。この朝かなり冷えたのか霜柱、樹氷に出会えた。9時を過ぎてもそれが解けることなく残っていた。根子岳（2207 m）頂上や、四阿山（2354 m）頂上から、富士山が見え少し感動する。遠くからみてもやはり富士山のあの形ほどの山も敵わないだろうと思う。周回コースで約6時間。当初この東北遠征では、百名山15座を目指していたがこの四阿山の11座でもって終了する。			

#### 山行計画

No.	日程	山名	形態	担当
1	10/28-29	黒部峡谷樺平	HK	NH

2	10/28-29	御在所岳（初級登山教室）	RC	TT
3	11/3-4	蓬萊山（～堂満岳）	PH	TT
4	11/12	ハイキングレスキュー講習（県連講習）	訓練	TN
5	11/23	六甲全山縦走	縦走	TN
6	11/23-26	宮古島	PH	NH
7	12/9-10	鬼ヶ岳（歓迎・忘年山行）	PH	TT

次回ミーティング 11月23日（木）19:30～ イオンモール京都フードコート